



# QFN 通信

Qshu Forest Network News

NPO 法人 九州森林ネットワーク

巻頭文 副理事長 渡邊 雄一郎

第 12 号 since2005.6.1

発行日 2012.xx.xx

<発行>

NPO 九州森林ネットワーク

本部：宮崎県諸塚村

<編集責任>

大分・上津江オフィス

NPO 法人九州森林ネットワークにとって初めてとなるシリーズ企画『震災を超えて』の第 1 弾が、安成工務店 様の協力のもと開催されました。

震災後、特にエネルギー不足が問題視される中、パッシブ型住宅や、木材の地産地消、環境共生住宅など環境循環型社会における住宅のあり方を長年追及している安成工務店様のモデルハウスや菊川工場の見学、事例を聞く事によって、これからの木材・住宅産業のあり方を考えていく事がテーマのフォーラムでした。

モデルハウスは、環境にやさしい建材の利用や、地域材を使用しているだけでなく、デザインや健康的で快適なライフスタイルの提案など幅広い世代に受け入れられる住宅となっており、長年安成工務店様が、培われたノウハウが詰まった住宅となっていました。とかく、省エネやエコというと、我慢や忍耐が要求されがちですが、そのような事をせずとも、快適な省エネ・エコ生活を実践できるという事例を見学しました。

クリーンで効率的な菊川工場は、プレーナー屑がそのままパイプラインでペレット工場に運ばれ、ペレット化され、そのペレットも、安成工務店様が分譲した安岡エコタウンで使用されるなど、環境・循環型社会への実践へのこだわり的一端が見受けられました。

フォーラムでは、遠藤日雄氏の東北材と九州材は競争関係ではなく、補完し合える関係になれるという話や、三浦裕成氏の震災後の価値観の変化が木材・住宅市場へ与えると思われる影響の話など、特に『なつかしい未来』がキーワードになるという話を興味深く拝聴する事ができました。

パネルディスカッションでは、未利用材の利用方法、パッシブ型住宅、山林の現状、木材の良さの再発見、低 CO2 住宅、各者が考えている今後の取り組みなどの議論が行われました。

シリーズ第 2 段は、鹿児島市で開催予定です。これから造る住宅や環境志向の素材づくりに焦点を当てて、『パッシブデザインの家』について議論する予定です。是非、ご来場ください。

最後に、ご来場頂いた皆様、今回のフォーラムでご協力頂いた安成工務店スタッフの皆様 並びに、ご協力頂いた関係各位の皆様に厚く御礼申し上げます。



## 【目次】

第 16 回九州森林フォーラム  
の報告 P.2～P.5

第 17 回九州森林フォーラム  
のお知らせ P.6



## 第16回九州森林フォーラム IN 門司 の報告 平成23年10月28日～29日

### 震災を超えて 第一弾

「どうする？木材業界！

今、九州の家づくりはどこへ向かうか」

3.11の東日本大震災及び原発事故は東北、北関東のとりわけ自然に寄り添って成り立っている農林水産業に広範で甚大な被害をもたらしました。

NPO九州森林ネットワークでは、この大震災を契機として、九州として何をなすべきかを考えるシリーズ企画「震災を超えて」に取り組みます。

その第1弾として、『東北の実態と九州を始め全国の木材流通に与える影響』を遠藤日雄氏に、『震災を経て住宅産業が直面している問題・動向』を三浦祐成氏に講演頂き、環境共生を掲げ地域工務店の旗頭である安成工務店様の事例報告をもとに、これからの家づくりはどこに向かうのか？九州の木材業界はどう変わるべきかについて議論してまいりました。

#### 第1部 10月28日（金） バスツアー見学

##### ■ 安成工務店様 『香りの家モデルハウス見学』hit 小倉南住宅展示場内

太陽熱を活かしたOMソーラー、断熱材「セルロースファイバー」、大分 上津江産の木材を多く利用している安成工務店様のモデルハウスを見学してまいりました。



(1) 香りの家モデルハウス 外観



(2) 香りの家モデルハウス 説明



(3) 香りの家モデルハウス 見学



(4) 香りの家モデルハウス テラス

## ■ 安成工務店 様 そーれ菊川工場

安成工務店様 そーれ菊川工場にて、セルロースファイバー製造工場、津江杉構造館、プレカット工場、ペレット製造工場を見学してまいりました。



(1) そーれ菊川工場 説明



(2) 断熱材セルロースファイバー工場見学



(3) セルロースファイバー防音試験



(4) セルロースファイバー不燃試験



(5) 津江杉構造館 説明



(6) 津江杉構造館 見学



(7) プレカット工場 説明



(8) プレカット工場 超仕上げ



(9) ペレット製造工場 説明



(10) ペレット製造工場 見学

## 第2部 10月29日(土) 九州森林フォーラム IN 門司 基調講演

フォーラムでは、遠藤 日雄(えんどう くさお)鹿児島大学 農学部教授、三浦 裕成(みうら ゆうせい)株式会社新建新聞社 取締役 局長により基調講演が行われました。



(1) 遠藤 日雄(えんどう くさお)鹿児島大学 農学部  
教授による基調講演  
「九州は1つ、県産材から九州産材へ」



(2) 三浦 裕成(みうら ゆうせい)株式会社新建新聞社  
取締役 局長による基調講演  
「地域材活用のニーズと変化を探る」

### 第3部 10月29日(土) 九州森林フォーラム IN 門司 事例発表

『LCCM(ライフサイクルカーボンマイナス)住宅で「木の家」工務店が復活』をテーマに、株式会社 安成工務店 代表取締役 安成 信次(やすなり しんじ) 様に事例報告を発表して頂きました。



### 第4部 10月29日(土) 九州森林フォーラム IN 門司 パネルディスカッション

矢房 孝広(宮崎県諸塚村役場)のコーディネートで、パネリストは、遠藤 日雄氏(鹿児島大学 教授)、三浦 裕成氏(株式会社新建新聞社 取締役 局長)、安成 信次氏(株式会社 安成工務店 代表取締役)に加え、吉弘 辰一氏(吉弘製材所 代表者)、木川 研史氏(株式会社トライ・ウッド 取締役)、村田 義弘氏(株式会社 建築工房 自然木 代表取締役) のメンバーで行いました。



#### ■ 参加者

見学会参加者 31名  
フォーラム参加者 65名

#### ■ 参加者からのコメント (抜粋)

- ・大変勉強になりました。今後の参考にさせていただきます。安成工務店のモデルハウスと「そーれきくがわ」の工場見学をさせてもらい、感銘を受けました。セルロースファイバー断熱材(デコスドライ工法)と木質ペレット燃料製造施設はすばらしかった。
- ・安成工務店の木材住宅に対する取組みが大変参考になりました。住宅業界が今後ますます環境、エネルギー対策に取り組んでいくことがわかりました。断熱材に力を入れていることもわかりました。工務店と山側の連携を続けていくことで木材住宅の需要が増えていくと思うので今後も続けていってほしい。大径材の利用について、もっと真剣に考えていかななくてはいけないと思いました。
- ・2015 ショックは業界にショック。木材と国産材住宅は展望がある?それともきびしい?色々な方の話を聞いたがまだ深まりが不足の漢字、次回も引き続きやってもらいたい。

# 第17回九州森林フォーラム IN 鹿児島 開催のお知らせ

九州森林ネットワークのオフィシャルホームページ：<http://www.geocities.jp/shinrin9net/>

■日程：平成24年5月18日（金）～5月19日（土）

■会場：鹿児島県民交流センター

■テーマ：震災を超えて第二弾

「パッシブデザインの可能性 ～川上川下の連携で進める環境志向の住まいづくり～」

3.11以降、エネルギー問題に注目が集まり、住宅においても太陽光パネルを設置し、発電使用量を見える化した「スマートハウス」が注目を浴びています。その一方で、川上の木材生産者と川下の工務店が連携して室内環境や強度を重視した自然素材を多用し、風・熱・光等の自然エネルギーを採り入れたり、隔てたりする事によって空調設備をほとんど使わずに四季を通じて快適に暮らす「パッシブデザイン」の家にも注目が集まっています。

3.11以降の住宅や環境志向の素材造りについて、「パッシブデザイン」をキーワードに川上川下の意見交換を行いたいと思います。多数のご参加をお待ちしております。

■主催：NPO法人九州森林ネットワーク

■後援：かごしまみどりの基金、鹿児島県、福岡県、佐賀県、長崎県、大分県、熊本県、宮崎県、諸塚村、小国町、耳川広域森林組合、小国町森林組合、(株)トライ・ウッド

■参加費：2,000円（会員無料） ※懇親会参加者は別途4,000円

■プログラム：

5/18(金) 13:00	九州森林フォーラム 受付開始
13:15～16:30	九州森林フォーラム 基調講演 野池 政宏 氏 (住まいと環境社代表、岐阜県立森林文化アカデミー非常勤講師 ほか) 事例報告① 江藤真理子 氏 (空設計工房 代表) 事例報告② 村田義弘 氏 (株式会社 建築工房 自然木 代表取締役) パネルディスカッション コーディネーター 野池 政宏 氏 パネラー 江藤 真理子 氏、村田 義弘 氏、パッシブデザインの住まい手2名
18:30～20:30	懇親会
5/19(土) 10:00～12:00	現地見学会 パッシブデザインハウスの見学 ※ 「鹿児島県 始良町」 現地集合

■問い合わせ先：NPO法人九州森林ネットワーク事務局（宮崎県諸塚村 企画課内）

TEL:0982-65-1116 FAX:0982-65-0032